

追憶のヒマラヤ

皆さんはじめまして、ポリテクカレッジ岐阜の青木さんより紹介をいただきました、職業能力開発総合大学校の重谷と申します。青木さんはポリテクセンター静岡で、私に乱暴かつ贅沢なお酒の飲み方を教えてくださった師匠です。11月、昼休みに急に電話が鳴り、

「おい、しげ、リレートーク頼むわ」

「え！ 急になんすか？ ちょ、ちょっと待ってく...！」

「頼んだで、ほな」ガチャッ、ツー、ツー...

やや脚色してありますが、こんな感じで師匠から（強引な）依頼を受け、書く羽目になりました。しかし、今日現在（1月半ば）で当初の締め切りを1ヵ月以上過ぎていますが何も書いてません。どうしよう。

私は大学時代にワンダーフォーゲル部で山を少々かじっていて、ヒマラヤにトレッキングに行ったことがあるので、記憶をほじくり返しながら、そのことを書きます。なにぶん、6～7年前のことなので多少いい加減ですが、ご容赦のほどを。

ヒマラヤトレッキングというのは、ヒマラヤと言うだけでなんか大層なことをするように聞こえますが、やることは国内での登山より圧倒的に楽です。多少金をかけてガイド、コック、ポーター（私の場合は「ゾッキョ」と呼ばれるヤクと牛の間の子でした）を雇えば、寝て、歩いて、まずい飯を食べて、しっかりと高度に順応するしかやることはありません。しかも土地の人間の生活道を歩くのですから、道もいいですし、登りもきつくありません。ぼかぼか陽気の中、牛と一緒に田舎道を歩き、あまりにも青すぎる空にうかぶ景色は世界の屋根「嗚呼、すご

いな」と素直に感動すること請合いです。私はエベレストベースキャンプ付近のカラパタール（標高5,500m）という丘に登ったのですが、往復に3週間近くかけただけあって、高度順応も行程も楽でした。でも、さすがに空気は薄いので4,000m以上ではトイレに行くだけで息が切れます。そのような高度でも酒、たばこを一切控えなかったせいもありますが。

なんだか中途半端な観光案内のようになりますが、私のように3週間もかけなくても予算と日程に合わせていろいろツアーが組めますので、ヒマラヤに興味のある方は行ってみると面白いと思います。

さて、次はポリテクセンター福井の大谷さんをお願いしたいと思います。ポリテク静岡のときに公私ともに大変お世話になった先輩です。運動神経抜群で夏は主にボディボード、冬はスノーボード、それ以外にも何でもできてしまう方です。それでは大谷さん、よろしくお願いします。



シェルパの里ナムチューバザールにて、中央が私

指導員ってなんだろう？

指導員としての目標を見失い、やりがいのある仕事を求め、現在の高度ポリテクセンターの準備室に転勤して、影響を受けた一人である平野さんから、今回の依頼がありました。

「指導員として求められる能力とはなんだろう」「仕事をおもしろくするには、どうしたらよいのだろう」、こんなことを十数年前から、今でも考えています。

ある指導員たちが集まる会で、今の仕事のことを尋ねたとき、「それなりにやっています」と答えた人がいました。

私が、初めて指導員として仕事を始めたときには、師匠と仰ぐ人も、同僚として技能と技術を互いに切磋琢磨する人もいました。今思えば、それなりの環境が整っていたので、自分の技能向上という目標をそれなりに見つけていたと思います。

この話をすると、「それは恵まれてたね」とよく言われます。今は、そういう師匠も同僚もいないのが多いようです。

大学の同期生たちでホームページを公開し、お互いの近況報告や連絡用に活用している人たちがいます。

全国の指導員の中で、師匠、先輩、同僚、後輩がいて、お互いの持つ情報や知識、知恵を共有し合い、悩みなどを相談し合えるような指導員ネットワーク環境がほしいものです。

指導員が目指すべき目標とは、なんでしょうか？「自分の技能を向上したい」「うまく教えられるようになりたい」「自分の評価を高めたい」など自分の立場での目標のとらえ方は、枝葉の目標でしかないのではないのでしょうか。労働者あるいは離転職者の目標達成のための能力開発、職場や組織の中で後輩、

同僚、上司のために、自分がどれだけ貢献できるかという幹を忘れてしまっていないだろうか。見方を変えた大きな目標を持たなければ、すぐに目標を見失ってしまいます。

木は成長しすぎると枝葉が繁りすぎて、風も通らず、日も差さなくなると衰えてしまいます。組織もそうですが、うっかりすると伸びすぎた枝葉のほうばかりを大事にして、自分のことばかりにこだわって本筋の目標を見失ってしまうことが起こりがちです。

能力は、目標があって、初めて求められるものです。一般に、能力とは職務遂行能力のことをいい、テクニカル、ヒューマン、コンセプチュアルの3つがあります。さらに最近では、コンピテンシーやEQという行動特性とか心の能力もあるといえます。

人の能力の違いは、自分から本気でやる気になるかならないかの違いが根本にあります。自分からやる気になりさえすれば、仕事はおもしろくなり、必要な能力も自分で見えるようになるはずで

教育改革国民会議報告の教育を変える17の提案の中に「人間性豊かな日本人を育成する」という項目があります。現在、自分自身で考え創造する力、自分から率先する自発性と勇気、苦しみに耐える力、他人への思いやり、必要に応じて自制心を発揮する意思を失っているとして、個人の自立が大勢の人の幸福を願う公的な視野に広がると報告しています。

なにか、説教のようになってしまいましたが、これも私自身への戒めと指導員に対する思いが深いということで、ご勘弁ください。

今回のリレートークは、人間性豊かな日本人である北海道能開大の平野さんをお願いしています。

「北海道は、寒かろう」